

【子ケーブル】

■ 子ケーブルとは？

・下記に挙げるデジタルセンサのコネクタタイプと組み合わせて使用されるオプションのワンタッチケーブルの内、子機に使用するケーブルを“子ケーブル”と呼んでいます。

- ・デジタルファイバセンサ (FX-500シリーズ、FX-400シリーズ、FX-300シリーズ)
(注) デジタルファイバFX-100シリーズには使用されません。
- ・アンプ分離型デジタルレーザセンサ (LS-400シリーズ)
- ・アンプ分離型超小型近接センサ (GA-311)
- ・ヘッド分離型・2画面デジタル圧力センサ (DPS-400シリーズ)



■ ワンタッチケーブルの分類

・ワンタッチケーブルは、次のように分類されます。

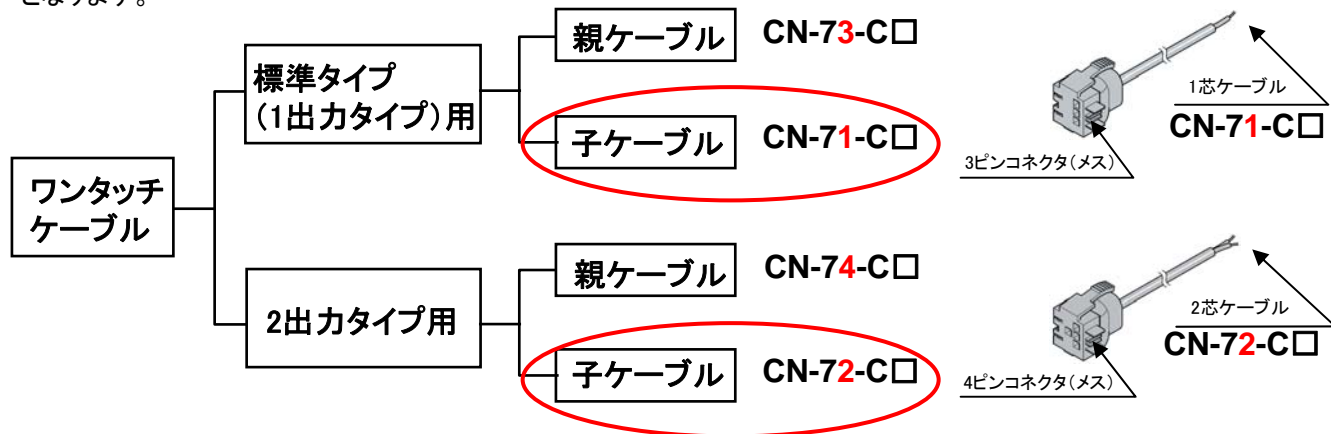
この内、子ケーブルは、

- ・標準タイプ (1出力タイプ) 用
- ・2出力タイプ 用

となります。

: CN-71-C□

: CN-72-C□

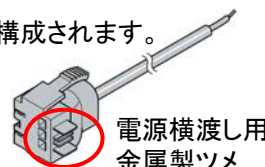


■ 子ケーブルのリード線の構成

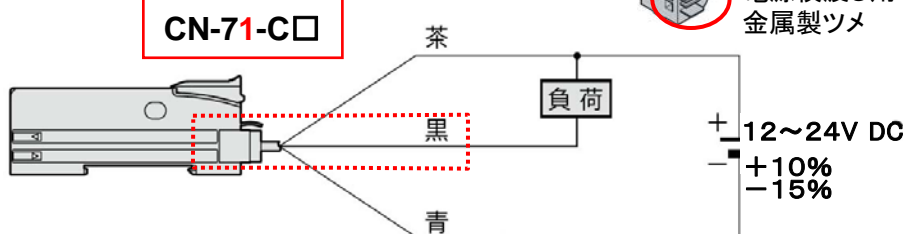
・子ケーブルのリード線は、標準タイプ (1出力タイプ) は1本、2出力タイプは2本あり、次のように構成されます。

・子ケーブルには、茶 (+V)、および黒 (0V) は装備されていません。

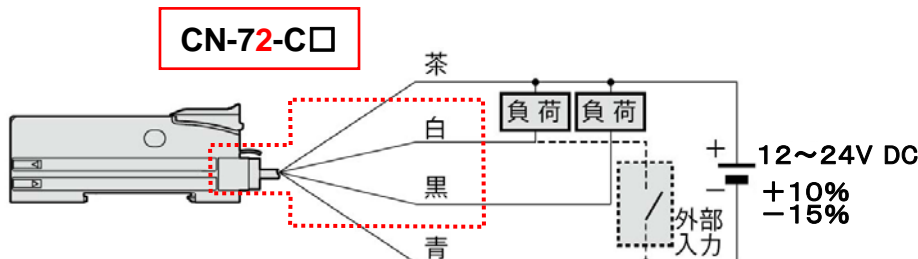
・直流電力 (電源) は親ケーブル側面のコネクタ部と子ケーブル側面の電源横渡し用金具製ツメを通じて供給されます。



- ・標準タイプ (1出力タイプ) 用
- ・黒 (OUT)

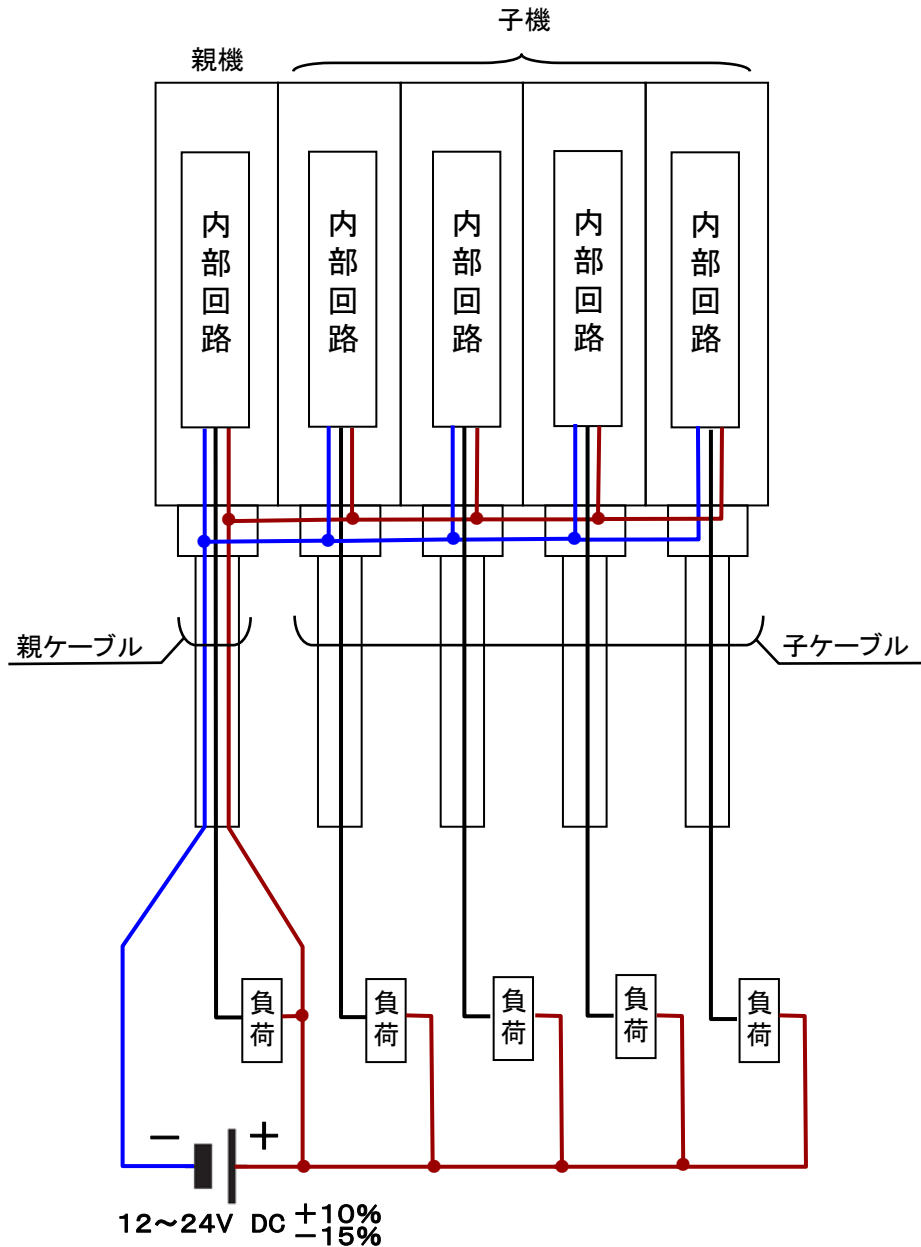


- ・2出力タイプ 用
- ・黒 (OUT1)
- ・白 (OUT2)



■ 子機への直流電力供給方法と負荷の接続方法

- ・複数のデジタルセンサを横連結して使用する場合、一番左に配置されるセンサを”親機”、親機の右側に連結されるセンサを“子機”と呼びます。
- ・親機には親ケーブルを、子機には子ケーブルを使用します。
横連結したデジタルセンサすべてに子ケーブルを使用することはできません。
一番左に配置される親機には、必ず、親ケーブルを使用します。
- ・子機への直流電力は、(左側のデジタルセンサのコネクタ部) → (右側の電源横渡し用金属製ツメ)を通じて供給されます。
- ・子機への負荷接続方法は、下記のとおりです。
(下記事例は、**FX-501**(標準・NPN出力タイプ)の場合です。)



(注) No.249: ワンタッチケーブル、No.250: 親ケーブルの用語解説も、併せてご覧ください。